

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1025 母子健康診査事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
		細目	241	母子保健事業
行革大綱の重点事項番号	7	細々目	01	母子健康診査事業
担当部課	コード 653000 名称 阿山支所住民福祉課	担当者 氏名	小田真規子	連絡先 43 - 332 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内在住の乳幼児(4カ月児、10ヶ月児、1歳6カ月児、3歳6カ月児)とその保護者
成果(どうする)	乳幼児の疾病の早期発見及び早期治療につなげることができる。個別の育児相談の場を設けることで育児不安を軽減し、育児力の向上及び児童虐待の防止につながる。
根拠法令・要綱等	母子保健法
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業 内容	4カ月児、10ヶ月児健診は県内医療機関委託。 1歳6カ月児、3歳児健診は集団で実施。(小児科医師・歯科医師による診察、保健指導、歯科相談、栄養相談)
社会情勢 の変化等	平成9年度の母子保健法の改正により、一時的な母子保健サービスの実施は、市町村の責務とされ、市町村は母

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
4カ月児健診受診者数	目標	人	50	50	45	45
	実績		48	46		
10カ月児健診受診者数	目標	人	55	55	45	45
	実績		50	43		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
1歳6カ月児健診受診率	受診者/対象者	%	目標	100	100	100	100
			実績	92	93		
3歳児健診受診率	受診者/対象者	%	目標	100	100	100	100
			実績	97	98		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	153		171		64		64	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0		0		0		
一般財源	153		171		64		64	
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)		1,593		1,611		1,504		1,504

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業			
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○	
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	住民の利便性を考慮し、健診場所や回数などの見直しを実施し受診者の満足度の高い健診を実施する必要がある。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 4ヶ月児、10ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児健診ともほぼ目標達成できているが、100パーセント受診を目指しさらに充実させていく

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 母子健康診査の実施により、乳幼児の健康管理や母親の育児不安の相談等行っている。今後も継続の必要がある。
現時点における 課題、その他	今後も各種健診を実施して、育児指導等を行う。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	